

令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	③	学校名	奈良養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 「(社会参加学習)における『地域作り実習』」

2. 取組概要

- ・「星つむぎの村」さんをお招きして、プラネタリウム上映会を行った。
- ・「ヘルマンハーブ」さんをお招きして、音楽鑑賞会を行った。

3. 特徴

- ・今年度、初めての取組で、本校の特別教室等をプラネタリウムの会場に見立てて上映会を実施した。新型コロナウイルス感染症への対応として、「星つむぎの村」と一部リモートでつなぎ、学年入れ替え制で実施した。
- ・例年に引き続いて、本校の教室等を利用して実施した。新型コロナウイルス感染症への対応として、グループ毎に実施日や時間帯を分けるとともに、来校していただいている本校の元教員の方と、事前に感染症対策の打ち合わせを丁寧に行った上で実施した。

4. 成果、課題

- ・生徒の頭上やスクリーンいっぱいに広がる星座や個々の生徒名を呼びかけつつ、説明をいただくなどの「星つむぎの村」さんの配慮により、生徒たちは、表情豊かに鑑賞をすることができた。新型コロナウイルス感染症流行のため、代表者の高橋真理子さんと、奈良養護での直接的な交流ができなかったが、来年度以降も引き続いて上映会を実施する際には、感染状況を見極めながら、本校の他の行事の実施内容を踏まえ、検討していきたい。
- ・ヘルマンハーブさんが、本校の「音楽」で取り組んでいる歌など、生徒がなじみのある歌を曲目に入れていただいたので、生徒たちは、演奏に注目しながら鑑賞をすることができた。演奏の途中で、生徒たちにヘルマンハーブに触れさせていただき、音を出せたことに喜ぶ生徒たちも多かった。来年度以降も、関係を大切にしながら、演奏会実施の方向で検討していきたい。今年度は、感染症対策として、残念ながら演奏者の人数を少なくして実施したが、来年度以降は、感染症流行の状況を見極めながら、個々の生徒たちが演奏者の方との交流の機会が、さらにもてるように、演奏者の人数を元の通りに増やしていただくことを依頼するなどを検討していきたい。

5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

・プラネタリウムの上映会やヘルマンハーブさんの演奏会は、本校の総合的な学習の時間は「社会参加学習」の授業として、学年の枠を外し、課題別にグループ編成を行い、毎週2時間実施している。学習のねらいは、個々の生徒たちの卒業後の生活を見据え、地域の人々をはじめ、様々な人々と交流を行い、社会経験の機会を広げることが大きなねらいの一つである。その意味において、プラネタリウム上映会やヘルマンハーブ演奏会などの開催は、ねらいの達成に役立つ取り組みであると考えている。来年度の実施も検討していきたい。

・今年度、取り組めなかった活動は、「社会参加学習」では、例年、奈良市内の老人福祉施設などへ生徒が訪問し、お楽しみ会などの交流をさせていただいている。また、地域の福祉事業所や卒業生の方に来校いただき、「卒業後の生活」についてお話をさせていただいたりしている。残念ながら、今年度は中止や回数を減らさざるを得なかった。生徒の卒業後、地域の中で生活をしていく上において、個々の生徒たちの事業所実習と同様に重要な取組であるので、来年度は、感染状況を見極めながら、取り組めなかった内容についても、実施の有無を精査していきたい。

・コミュニティ・スクール導入・推進は、地域の中で生徒たちが育っていくことを考えていく上で、重要な取り組みであると考えている。本校の生徒の社会経験を広げることや地域のみなさんへの啓発を進める上において、「地域とともにある学校づくり」は大切であると考えている。来年度も卒業後の進路に向けた事業所実習を含めた様々な交流活動を中心に考えていきたい。



プラネタリウム



ヘルマンハーブ